



桶川東中だより

☆★令和6年度★★☆

桶川東中学校通信 No.4 発行：7月19日（金）

～1学期を振り返って～

校長 家徳 丈夫

4月8日に始まった令和6年度も、本日で1学期が終了します。皆さんにとって、どんな1学期だったでしょうか。

1年生は、入学後の中学校生活で、小学校とは違うことが多く戸惑うこともあったかと思いますが、今では中学校の生活にもなれ、授業をはじめ、部活動や委員会活動も経験し、入学当初よりも中学生らしく成長したと感じています。本校の教育目標でもある「明るいあいさつ」をする人も多く、このような雰囲気をこれからも大切にしてほしいと感じています。

2年生は、あいさつをはじめ、委員会の活動や部活動でも先輩として下級生の手本となる場面が見られ、上級生らしくなり、成長したことを実感しています。これから、学校の中心となっていくにあたり、ますます自覚をもって成長していくことを期待しています。

3年生は、最上級生・「学校の顔」として、生徒会執行部や中央委員の人など中心に毎朝「あいさつ運動」をはじめ、1学期の大きな行事である体育祭では、準備の段階から当日まで取り組み、どの競技にも自分のため、みんなのために懸命に力を尽くす姿は、私の誇りです。部活動でも中心となって熱心に取り組み、学校総合体育大会で「今あるベストを尽くす」姿に感動しました。県大会出場の部及び吹奏楽部・芸術部は引き続きの活躍を期待しています。頑張ってください。

さて、今学期の始業式、入学式で私から皆さんにお話ししたことを覚えていますか。1年生には1つ、2・3年生には2つお話ししました。覚えていた人がいたら、とてもうれしく思います。

話したことは、「自分も周りの人も『リスペクト』してほしい」ということです。加えて、2・3年生には、「桶川東中生のプライドとは何かを考え、そのプライドを身に付けてほしい」ということとお話ししました。

1つ目の「リスペクト」ですが、学校生活の中でどのくらい意識してくれたのでしょうか。ちなみに「リスペクト」とは、尊敬、尊重などと訳されますが、どちらかというと「尊重」「敬意」が当てはまります。「ありのままの相手に敬意をもつ、尊重する」ということで、「ありのままの相手」というのがポイントです。「ありのまま」ということには、「良し悪しをつけない」ということが大切だと言われています。どのような事情があるとしても、その人がこの世に生まれてきて、その人なりに生きてきた、という事実そのものが大切であり、そのことを尊重することが「リスペクト」するということです。

他の人の優れていることやできないことを探したり、自分と比べたりするのではなく、「その人を無条件に尊重する」ことが「リスペクト」するということです。つまり、「いろいろある中で、頑張っている存在」として見るのが重要なのです。他の人だけでなく、自分自身のことも、「リスペクト」できることも重要です。

さらに、本校の生徒の皆さんが、周りの人も自分も「リスペクト」できるようになることを、私は心から願っています。そのような学校の一員でいることは、皆さんの誇りになるはずです。それが、「桶川東中生のプライド」につながると考えています。2学期の皆さんのさらなる成長に期待しています。

明日から37日間の夏休みとなります。令和6年度の夏休みは、誰にとっても唯一無二。一生に1回です。3年生は進路選択に向けて、大事な時期を迎えますが、夏休みの経験を、2学期からの学校生活の充実につなげてください。皆さんがこの夏休みを、事故なく、けがなく、有意義に過ごせることを願っています。

7月の生活目標

- ・ 自分の取組を振り返り、1学期のまとめをしよう。

重点目標

- ・ 規則を守る
- ・ 清掃活動の充実

